



火入れ式

第8回テーマ： 六甲山小学校の総合的な学習

講演内容

- ①六甲山小学校の特色
- ②六甲山小学校の行事紹介
- ③総合的な学習「山の子学習」
- ④六甲山小学校のこれから

実施日：平成15年11月15日（土）
午後1時～3時30分

場 所：六甲山YMCA



講師：高光 正明 さん
たかみつ まさあき

プロフィール

昭和23年 明石市生まれ
昭和46年大阪体育大学体育学部卒業、昭和48年神戸市立長田小学校着任、神戸市内7校を経て平成13年度より六甲山小学校校長 教員生活30年

六甲山YMCAで初めて開催

11月10日から来年3月末頃まで県立六甲山自然保護センターは休館のため、セミナー会場を今回より六甲山YMCAに移しました。池田所長に大変ご配慮いただきました。

六甲山YMCAでは昼食手配が可能ということで、一部の方と一緒に昼食をしました。セミナー参加者の中には、午前中に六甲山へ上がり散策をして、六甲山YMCAで昼食をとった後この市民セミナーに参加するというスケジュールを組んで来られた方もいらっしゃいました。



六甲山YMCA

会場には六甲山小学校の活動掲示物を展示しました。今回の参加者は18名。和やかなムードでセミナーは始まりました。

「遊び」を説く高光校長

今回のスピーカーは神戸市立六甲山小学校の校長、高光正明さんです。高光校長は平成13年度より六甲山小学校の校長に就かれています。今年で教師勤続30周年を迎えられました。講演では「遊び」をキーワードに六甲山小学校の特色や総合的な学習についてご紹介いただきました。笑ったり共感したりの内容で、最高のパフォーマンスをご披露いただきあっという間の1時間でした。

六甲山小学校はまるごと総合的な学習

六甲山小学校は、神戸市内から最寄りの交通機関で約1時間の位置に本校があり、標高約795メートル、杉の木立に囲まれた緑の中の学校です。

現在の児童数は27名で、平成14年度より校区を広げて小学生を受け入れる制度「小規模特設校」となっています。1年生と2年生が単式学級、3・4年生と5・6年生が複式学級の計4学級からなり、11人の教職員が家族的な雰囲気の中で日々教育を進めています。昼休みには児童全員が一緒になって遊びます。

保護者や地域の方を含めた人間的なふれあいを大切にされる行事も多く、六甲山小学校がまるごと総合的な学習であると痛感しました。

六甲山小学校のファンになった！

講演後の懇談会では、六甲山小学校の父兄である稗田さんより、お子さんの学校生活の様子や体験談をお話いただき、質問も飛び交いました。学校と父兄との信頼や厚いつながりに感銘を受けました。



教育についてじっくり考える

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局
兵庫県立人と自然の博物館



テーマ:六甲山小学校の総合的な学習



第8回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. 昼食懇親 : 12:00~13:00
2. あいさつ : 13:05~13:10
3. 会場案内 : 13:10~13:15
4. 講演 : 13:15~14:40
5. 懇談会 : 14:50~15:30

講演

- ①六甲山小学校の特色
- ②六甲山小学校の行事紹介
- ③総合的な学習「山の子学習」
- ④六甲山小学校のこれから

※六甲山YMCAにてセミナーを開催しました。食堂で昼食をとった後、研修室で講演

講演のあいさつ(高光 正明さん)



小道具もバッチリ準備

神戸の**高い**山、六甲山から教育を**光**らせる、5時から**は(も)**、**正**しく**明**るく生きる、**ハイライト**高光正明です。

私は遊ぶことが好きで、遊びから学ぶのが一番であると思っています。これは六甲山小学校の教育目標にもなっています。

講演内容

六甲山小学校の歴史

昭和24年に唐櫃小学校の分教場として開校し、3年後の昭和27年、六甲山小学校として独立して現在に至る。標高795メートルに位置し、気候は青森県とよく似ており、冬にはマイナス10度になることもある。児童数は昭和33年の73名をピークに一時は11名まで減少し、現在は27名となっている。すぐ隣には幼稚園もあり園児の数は2名。幼稚園を含めて15名の職員で児童を見守る。

二宮尊道さんが校歌を作詞

小学校の校歌は二宮金次郎の5代目である二宮尊道さんが作詞をしている。学校の隅には、二宮金次郎の銅像があり、二宮金次郎が愛した言葉「誠」という字が刻まれている。

全国唯一のケーブル通学

児童の大半は通学にケーブルを利用しており、ケーブルで通学する小学校は、全国でも六甲山小学校だけと非常に珍しい。

小規模特認校とは

六甲山小学校は、自然環境に恵まれ、全児童参加での魚とりやチューリップ・椎茸栽培、六甲山での地域行事への参加、スキー教室など、特色ある取り組みをしている。一般的には児童生徒の通学する学校は教育委員会で定めた校区による。豊かな自然環境の中で心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培うことを目的として、保護者・児童が特に希望する場合には、一定の条件を付して、他の校区から六甲山小学校への入学・転学を認める制度である。現在この特認制度で入学している児童は19名で市外・県外から6名が来ている。



二宮金次郎像



毎日が遠足気分のケーブル通学

先生とくらす小学校

3年生以上は複式学級で3・4年生と5・6年生に組まれる。授業は、3年生は3・4年生の教科を、5年生は5・6年生の教科をすることがある。体育の授業は、1・2年生が一緒、3年から6年生が一緒に受ける。

給食の時間には、教職員・児童全員がランチルームで一緒に食べる。食事の時間が一番家庭の様子が見える。昼休みには児童全員が運動場いっぱいに広がって遊ぶ。一緒にくらすことで教職員と児童の心は自然と通い合ってくる。

ふれあい行事

毎年5月に全児童を対象としたキャンプを六甲山YMCAで行う。期間は2泊3日で、入学したばかりで落ち着かない時期に行われるため、親はとても心配する。カヌー遊びなどを通じて、上級生が下級生の面倒を見たり、お互いに我慢することを学んだりする。ここで全学年の仲間づくりが始まる。

子供が主役の「火入れ式」

六甲山の恒例の行事として、ストーブへの火入れ式がある。秋になると毎年、報道関係から日程等の問い合わせがあり全国に紹介される。毎年、二十四節気・霜降の日に行い、児童一人ひとりの手作りの道具を用いて火をおこし長い冬をともにするストーブに感謝し点火する。今年も10月24日に行われ、取材陣に囲まれた。



自分の力で火をおこす

「総合的な学習」とは

「生きる力」の育成を目指し、各学校が創意工夫を生かして、これまでの教科の枠を超えた学習などができる時間を平成14年度より新設。これまでとかく画一的といわれる学校の授業を変えて、①地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動が行える時間、②国際理解、情報、環境、福祉・健康など従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行える時間とする。

(文部科学省ホームページより抜粋)

「遊び」から学ぶ

総合的な学習とは簡単にいうと「世の中が変わったから生きる力を養おう」ということ。これは授業でなく「遊び」を通じて成り立つのではないだろうか。

六甲山小学校に通っていたら、「生きる力」は自然と身につけている。子供たちが自然を相手にしながら、自然から学んで、そこで身についた知恵をどんな風に援助するかが教師の役目であると高光校長は述べられた。



高光校長の話に感動した岩島さん

質疑応答

六甲山小学校と幼稚園にお子さんを通わせている稗田さんにも実際の様子をお話いただいた。

◆学校を知ったきっかけは…インターネットで見つけた。先生の人柄や話をうかがって、ここならやっていると思った。大阪の豊中から鶴甲へ引越し、毎日送り迎えをしている。

◆トラブルは?…トラブルはチャンスだと思いい子供の変化を楽しんでいる。喧嘩もコミュニケーションのいいきっかけだと思う。

後日、稗田さんをお願いして原稿を寄せていただきました。ありがとうございました。



体験を語る稗田さん

高光校長のまとめ

現在、生徒数が250名以下の学校は、統廃合しようとする考えが神戸市の方向となっている。もっと小規模のメリットや特色をアピールして学校を売り込みたい。私の夢は六甲山で幼稚園、小学校、中学校の校長をすること。一流の教師になる前に人柄の良い一流の人間になろうという考えで今後も努力する。

「六甲山小学校に子供を通わせて」 ～ 稗田 尚美さん ～

六甲山小学校の行事は、よく雨が降る。山上は天気の悪い日が多いのだ。でも、実は校長先生が雨男なのではという噂もある。6年生とのお別れ遠足も小雨に見舞われた。

「飯盒炊さんどうするんやろう。」

「校長先生のことやからやるかもしれへんで。」
案の定、小雨決行。炊事棟は屋根があるとはいえ、大丈夫だろうか。

「やっぱりやったでえ。」

どろどろでニコニコ帰ってきた息子。湿った木に火をつける難しさ。煙ばかりでなかなか大きくならない火に悪戦苦闘した話を聞く。みんなで協力してやっとできたカレーのおいしさを子供たちは忘れないだろう。

トラブルは無いよりあった方がいいと私は思う。六甲山小学校でも喧嘩はある。少人数だからこじれると気まずい。でも、やはり支えあわなければやっていけない。低学年の面倒も見なければならぬし、園児から六年まで一緒に遊ぶのには工夫もいる。一人ひとりが皆のことを考えなければ上手くいかない。そうして、皆が主役になれる。

校長先生はおっしゃる。「雨が降るときは降る、濡れるときは濡れる。それでええんや。」先生方は、答えを急がず子供たちの成長を待ち、見守ってくださる。

ぐちゃぐちゃの子供達の靴は、職員室のストーブの周りで湯気を立てていた。

◆配布&参考資料:

- ・神戸市立六甲山小学校要覧
- ・レジュメ「六甲山小学校」、新聞切抜き(火入れ式)
「未来に光きらめく小学校」
- ・掲示物、閲覧ファイル

神戸市立六甲山小学校

〒657-0101

神戸市灘区六甲山町北六甲4512-42

TEL/FAX: 078-891-0328

URL: <http://www.kobe-c.ed.jp/rks-es/>

◆アンケート

・六甲山小学校のあり方、高光校長の生き方が勉強になった。・教育の原点が知らされた思いがした。・学歴社会の中で見失われがちな人としての教育が、ここでは自然の中で遊びを通じて学び取れるように思う。
・稗田さんの体験エピソードが実に心にしみた。

◆参加者: 18名 (順不同・敬称略)

高光 正明 岩島 年子 泉 美代子 青木 孝子
石田 澄子 吉松 昌紀 菖蒲 一枝 新崎 利文
小笠原康人 稗田 尚美 鈴木 武 池田 勝一
堂馬 英二 米村 邦稔 越智 正篤 藤井宏一郎
中野 一 菖蒲 美枝